取扱説明書

耳かけ型補聴器　ニオス S H20

Nios S H20 V
Nios S H20 Ⅲ

はじめに

このたびはフォナック社の補聴器をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

	この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

警告	この表示がある項目は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示がある項目は、「損害を負う可能性、または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。

ご使用にあたって

禁止

- 音量を大きくしすぎないでください。
- 騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。
- 補聴器は医療機器ですので、分解や改造はしないでください。
- レントゲン撮影、CTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼします。これらの機器を用いた撮影を受ける前には補聴器を外し、撮影室の外に置くことをお勧めします。
  またMRIスキャンは強い磁力を用いますので、MRI室に入る前には必ずお外しください。
- 過度の湿気や高温な場所は避けてください。特に夏場は、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。
- 補聴器の内部に水が入ると故障する恐れがありますので、強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 電池は火中に投げ入れないでください。

⚠ 警告

- ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないでください。万が一、誤って電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

- 指向性マイクロホンが作動している場合は、主に背後から来る音を抑えます。そのため、装用者の背後に近づく車の音や背後で鳴るクラクション（警告音）が聞こえにくいことがあります。
- 補聴器を使用しない場合は電池を取り出してください。そして湿気を取り除くために電池ホルダーを開けたままの状態で乾燥ケースの中に保管してください。
- ご使用になるまでは電池のシールをはがさないでください。ご使用の際にシールをはがし、30秒ほど待ってからご使用ください。
- 使用済みの電池は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 不要になった補聴器は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 汗、湿気、皮脂、耳垢、整髪料などが補聴器内部に入ると故障する恐れがありますので、ご使用後はお手入れを行ってください。

ご使用になる前に

- 補聴器は聞こえを元にもどすものではなく、聴力を補う機器です。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れてきたら徐々に音量を調整してお使いください。
- 補聴器はお客さま専用に調整されていますので、他の人に貸したり、他の人の補聴器を装用しないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、場合によっては耳を傷めたりする恐れがあります。
- 耳を治療中の方、治療をしたことがある方は主治医にご相談ください。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。聴力測定を年に一度はお受けになることをお勧めします。

⚠ 注意

下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医にご相談ください。

- 耳の治療中の方、耳の中や耳の後に痛みまたは炎症がある場合
- 過去90日以内に耳だれがあった場合
- 過去90日以内に突発性または進行性の聴力低下があった場合
- 過去90日以内に左右どちらかの耳に聴力低下があった場合
- 急性または慢性のめまいがある方

下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止し、耳鼻咽喉科医または販売店へご相談ください。

- 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ・湿疹などが出た場合
- 耳だれが出てきた場合
- 耳の治療が必要になった場合
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思える場合

もくじ

各部の名称

イヤモールドの場合

①マイクロホン音口（マイクカバー付）
（音の入口）
②プログラムスイッチ
③電池ホルダー（電源の入/切機能付）
④イヤフック（音の出口）
⑤チューブ
⑥イヤモールド（別売）

電池サイズ：PR48（13）

オープン型耳せんの場合

スリムチップの場合

⑦スリムチューブα
⑧オープン型耳せん
⑨ストッパー
⑩スリムチップ（別売）
⑪取り出し用テグス

電池の交換方法

チャイルドロック付電池ホルダーについて

電池の誤飲などによる危険を防ぐため、この補聴器にはチャイルドロック付電池ホルダーがあらかじめ付属しています。電池交換は次の手順で行なってください。

1. 新しい電池の保護シールをはがします。シールが貼ってある側が（＋）面です。

2. 電池ホルダーを開き、ペン先などで電池を押し出します。この時、電池ホルダーをしっかり摘んでください。

3. 電池の向き(＋－)に注意して
新しい電池をセットします。

4. 図を参照に、電池固定用のツメを引っ掛けて電池が外れないよう固定してください。

4. 電池ホルダーを閉じます。

⚠ 注意

- 電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。
- 電池ホルダーがうまく閉まらない場合には、電池が正しく収納されているか確認してください。電池がプラスマイナス逆向きに収納されている場合、きちんと閉まりません。

電池寿命お知らせ音

電池がなくなりかけると、お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので、電池を新しいものに交換してください。（電池が使用できなくなる約30分前に鳴りますが、リモコン等ワイヤレスアクセサリーを使用している場合は短くなるなど、補聴器の使用状態によって異なります。）

補聴器の使い方

電源の入れ方

電池ホルダーを閉める

電源の切り方

電池ホルダーを開ける

ポイント

電源を入れると、補聴器はあらかじめ調節された音量とプログラムに自動的に設定されます。

⚠ 注意

- 電源を入れてから音がでるまで約４秒かかります。スタートアップの遅延が設定されている場合、電源を入れてから約４秒後に一瞬音が出てから、さらに６秒後または12秒後に動作します。

装用の前に

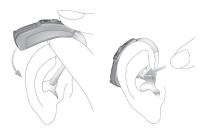
左右を色で見分けることができます。

左耳用：青色
右耳用：赤色

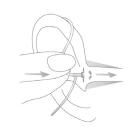
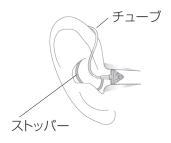
補聴器を耳に装用する方法

イヤモールドの場合：

1. 図のようにイヤモールドを持ち、そのまま耳の穴にイヤモールドを近づけます。

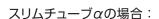
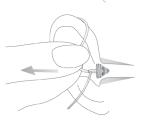
2. イヤモールドが完全に収まったら、補聴器本体を耳介の後ろにはめます。

スリムチューブαの場合：

1. 耳の上部に補聴器をかけます。

2. チューブを図のように持ち、耳せんをゆっくり押し込みます。（図はオープン型耳せんとなっています。）

3. チューブのストッパーを図のように耳のくぼみに沿うようにはめます。チューブが耳から浮かないようにをしっかりとはめてください。

補聴器を耳から外す方法

イヤモールドの場合：

チューブではなくイヤモールドをつかみ、ゆっくり耳から取り出します。

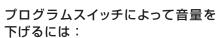
スリムチューブαの場合：

補聴器を耳から外すには、チューブの根元をつかみゆっくり耳から取り出します。

⚠ 注意

- ストッパーが長い場合は、少し切り取ることも可能です。その際、固定できないほど短くしないように十分気をつけてください。
- 耳せんは、チューブから外れないように作られていますが、万が一耳せんが中に入ってしまった場合には、医療機関にご相談ください。

音量調節方法

同一器種の補聴器を両耳装用している場合、プログラムスイッチでボリューム調節が可能です。
プログラムスイッチで調整する場合、あらかじめ販売店にて設定されている必要があります。

片耳装用の場合は、リモコンでのみボリューム調節が可能です。

プログラムスイッチによって音量を上げるには：
右側のプログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチによって音量を下げるには：
左側のプログラムスイッチを押します。

プログラム切り替え方法

あらかじめマニュアルプログラムを設定している場合、手動で切り替えることが可能です。様々な環境プログラム以外に、電話、ミュートなどのプログラムが設定できます。

プログラムスイッチを押すたびにプログラムが切り替わり、確認音が鳴ります。

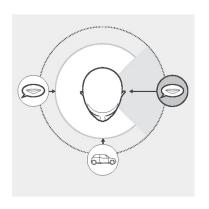
＊リモコンでのプログラム切り替えも可能です。

＊ミュート（無音）を選択している場合、音は聞こえませんが、電池は消耗しています。

クイックシンク（両耳装用の場合）

左右の補聴器が通信を行ない連動する機能です。片方の補聴器のプログラムスイッチを操作するだけでもう一方の補聴器も同じ動作をします。

ズームコントロール

ズームコントロールは、ニオス S H20 V を両耳装用される場合に、前後左右にある聴きたい音の方向をご自身で選択できる機能です。例えば、車を運転しているとき、隣の人や後ろの人と会話をするときなど、相手に顔を向けることができないときに便利です。
方向の切り替えは「マイパイロット」（別売）または、補聴器のプログラムスイッチにより行います。

1. マイパイロットによる方向の切り替え

まずマイパイロット（別売）のカラーディスプレイにズームコントロール画面を表示させます。

ズームコントロール画面（下図）を表示する
1. マイパイロットのメニューボタンを押す
2. メニュー画面でズームコントロールを選択

ただし、ダイレクトモード画面を使用している方は、一旦標準モードに戻してからズームコントロール画面を表示します。

ズームコントロール画面が表示されている状態で、マイパイロットの上下左右のボタンを押すことでお好みの方向の音を聞くことができます。

ボタン	切替方向
△	前方向に切り替えます
◁	左方向に切り替えます
▷	右方向に切り替えます
▽	後方向に切り替えます

詳しくは、マイパイロットの取扱説明書をご参照ください。

2. プログラムスイッチによる方向の切り替え

補聴器のプログラムスイッチでズームコントロールの方向を切り替えるには、あらかじめ補聴器に設定しておく必要があります。ダイレクトタッチ機能を使用すれば、希望する方向の補聴器のプログラムスイッチを押すだけでその方向に切り替えることが可能です。プログラムおよびダイレクトタッチ機能の設定については販売店にご相談ください。

ダイレクトタッチ機能オンの場合

販売店にてプログラムに組み込んだズームコントロールのダイレクトタッチ機能をオンにしておくと、そのプログラムに切り替えた際にプログラムスイッチを押した補聴器の方向に切り替わります。ただしこの場合は、左右方向のズームコントロールの使用のみが可能になります。

ダイレクトタッチ機能オフの場合

販売店にてあらかじめマニュアルプログラムの何れかにズームコントロールを組み込み、聞きたい方向を設定しておきます。プログラムスイッチを押し、ズームコントロールが組み込まれたプログラムを選択すると、あらかじめ設定された方向に切り替わります。オートマチックプログラムに戻る場合や、他のプログラムに切り替える場合は、適宜プログラムスイッチを押してください。（プログラムの切り替えは、マイパイロットやフォナック パイロットワンでも可能です。）

イージーフォン

イージーフォンは、受話器を耳にあてると自動的に電話プログラムに切り替わる機能です。
切り替わる時、お知らせ音（ピポ）が鳴ります。
受話器を耳から離すと、数秒後に元のプログラムに自動的に戻ります。
この機能は、あらかじめ販売店にて設定されている必要があります。

イージーフォン用の磁石を取り付ける方法

受話器をきれいにし、図のような位置に専用の磁石を付属の両面テープで貼ります。

（左耳用）

（右耳用）

⚠ 注意

- 磁石で受話器の音が出る部分を覆わないようにしてください。受話器を近づけても切り替わらない場合は、磁石の位置を変更してください。
- 磁石は子どもの手の届かないところに保管してください。もし誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。
- 磁石は、クレジットカードなどの磁気のあるものに影響しますので30cm以上離してください。

ワイヤレスアクセサリー(別売)

マイパイロット

マイパイロットは双方向通信機能を持ったリモコンです。
次のような機能があります。

- ボリューム操作
- プログラム切り替え
- 日付、時間表示
- マイパイロットの電池残量表示
- 補聴器の使用状態表示
  (ボリュームの位置、プログラム、電池残量)
- ズームコントロール
  (対応器種を両耳装用している場合のみ)
- アラーム

詳しくはマイパイロットの取扱説明書をご覧ください。

図のようにマイパイロット
画面を見ながら操作して
ください。

リモコン操作距離
約50cm 以内

フォナック コムパイロット

フォナック コムパイロットはリモコンとして補聴器のボリュームや調整やプログラム切替ができるだけでなく、補聴器と携帯電話やオーディオ機器、FMシステムなどを接続することができます。

【ブルートゥース接続】
携帯音楽プレーヤー、携帯電話、PC、テレビなどの音声をブルートゥース信号を使用して補聴器へ送ることができます。

【オーディオケーブル接続】
オーディオ機器とフォナック コムパイロットをケーブルで接続することで、オーディオ機器の音楽などを補聴器へ送ることができます。

【FMシステム】
ユニバーサールタイプのFM受信機（MLxi、別売）を接続することができます。

詳しくはフォナック コムパイロットの取扱説明書をご覧ください。

フォナック パイロットワン

フォナック パイロットワンは、補聴器のボリューム調整やプログラム切替ができるリモコンです。

両耳にフォナック パイロットワンが使える補聴器を装用している場合、両耳同時に動きます。リモコン操作距離は、50cm 以内です。詳しくは、フォナック パイロットワンの取扱説明書をご参照ください。

フォナック マイコム

フォナック マイコムは補聴器と携帯電話やオーディオ機器、FMシステムなどを接続する機器です。接続可能な機器の種類はフォナック コムパイロットと同等です。

詳しくはフォナック マイコムの取扱説明書をご覧ください。

FMシステム（別売）

話し手と聞き手の距離が離れた広い場所や周囲の声が行き交う公共の場所など、補聴器を利用しても聞き取りが困難な環境があります。そんな時に役立つのがFMシステムです。
遠くにいる話し手の声をキャッチしFM電波（169MHz）で快適な聞き取りを実現します。FMシステムには送信機と受信機が必要です。FMシステムの詳細についてはFMシステムのカタログをご覧ください。

FM送信機

<table>
<tr><td>製品名</td><td>インスパイロ
inspiro</td><td>スマート・リンク・プラス
SmartLink+</td><td>ズーム・リンク・プラス
ZoomLink+</td><td>イージー・リンク・プラス
EasyLink+</td></tr>
<tr><td>写真</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>特徴</td><td>学校生活用にデザインされた送信機です。言語獲得中の子どもに最適です。日本語表示で操作も簡単です。</td><td colspan="3">• ビジネスやプライベートで使用できる送信機です。話し手の首にかけて使用します。
• スマート・リンク・プラスは、ブルートゥースの機能を使うことによって携帯音楽プレーヤーや携帯電話などの接続が可能です。
• スマート・リンク・プラスとズーム・リンク・プラスは、指向性の切り替えができるマイクロホンを搭載しています。</td></tr>
</table>

FM受信機

製品名	エム･エル･エックス･アイ MLxi	エム･エル･フィフティーン･アイ ML15i	マイ･リンク･プラス MyLink+
写真			
特徴	別途、オーディオシュー（AS15）が必要です。 AS15 MLxi フォナック マイコム／コムパイロットとの併用も可能です。 フォナック コムパイロット MLxi	フォナック補聴器専用の一体型の受信機です。補聴器と一体型なので紛失の心配がありません。オーディオシューは不要です。 ML15i	Tコイルを利用してFMシステムが使用できる首かけ型受信機です。

オーディオシューの取り付け、取り外し

FM受信機の MLxi を使用するためにはオーディオシュー AS15 が必要です。
オーディオシュー(AS15)を使用する場合、以下の手順で取り付け、取り外しを行います。

※FMシステムを使用しないときに受信機、オーディオシューを取り外す必要はありません。

オーディオシュー(AS15)の取り付け:
AS15 を押し込み電池ホルダーの溝に沿ってスライドさせます。

オーディオシュー(AS15)の取り外し:
AS15 のつまみを押し下げながら補聴器をスライドさせます。

FMシステム使用手順（MLxi, ML15i）

切り替え方法	プログラムスイッチ	イージーFM機能
	手動切り替え	自動切り替え
手順	1. FM用プログラムを補聴器に設定します。 2. 補聴器のプログラムスイッチもしくはリモコンでFM用プログラムを選択します。 プログラムスイッチ	1. イージーFMの設定を有効にします。 2. 補聴器の電源をオンにして、オートマチックモードにします。 3. FM送信機から音声を入力します。 4. FM受信機が音声を認識すると自動的にFMプログラム「FM+M」に切り替わります。

FMシステム使用手順（MyLink+）

切り替え方法	MyLink+
手順	1. Tコイル用プログラムを補聴器に設定します。 2. 補聴器のプログラムスイッチもしくはリモコンでTコイル用プログラムを選択します。 3. MyLink+の電源をオンにします。

イージーFM

- イージーFM機能を有効にすると、次の条件下で自動でイージーFM専用のプログラム「FM(エフエム)+マイク」に切り替わります。
  - FM送信機とFM受信機がFMシステム利用圏内（約15m 以内）にあること
  - FM送信機とFM受信機のチャンネルが同期されていること
  - 補聴器のプログラムがオートマチックモードであること
  - 送信機のマイクロホンに音声が入力されること
- FM送信機からの音声の入力をストップ（FM送信機の電源オフも含む）し、しばらくすると自動でイージーFM専用のプログラムからオートマチックモードに切り替わります。

※MyLink+を受信機として使用している場合は、イージーFMは使用できません。

⚠ 注意

- 電子機器の使用が禁止されている場所（例：飛行機内など）ではFMシステムは使用しないでください。

IP67 防塵・防水機能に関する情報と注意

一般的な注意点

ヘアスプレーやその他の化粧品を使用する場合、補聴器のききとりに影響が発生する可能性がありますので、耳から取り外した後にヘアスプレー等をご使用ください。

使用上における注意

- この補聴器は電池ホルダーが完全に閉じた状態でのみ防塵･防水機能IP67を担保します。髪等が挟まれないように電池ホルダーを完全に閉じてご使用ください。
- 汗や埃が多くついてしまった場合は、きれいな水で洗い流し自然乾燥させてください。（このときドライヤーは使用しないでください）
- 日頃のケアや定期的な点検に関しては、以下をご参照ください。
  - スキューバダイビング、潜水、水上スキーやその他の水上でのアクティビティをされる前には補聴器を取り外してください。
  - 補聴器に水が付着することで電池への空気供給が制限されて一時的に補聴器の動作が止まることがあります。その場合は、柔らかい布もしくはティッシュで水分を拭き取り、濡れていないことを確認してから、電池ホルダーを開けて空気を供給してください。
  - FM受信機ML15iは、この補聴器に接続した状態でのみ防塵･防水機能IP67を担保します。ML15i単体では、防塵･防水機能が保持されませんのでご注意ください。
  - オーディオシューAS15を使用したときは、防塵･防水機能IP67は保持されませんのでご注意ください。

- 防塵･防水機能を維持するために、1年に1度はお求めの販売店を通じてマイクカバー交換と点検をご依頼ください。

ご使用後のお手入れ方法

補聴器を長くお使いいただくために、日ごろからのお手入れをお勧めします。

＜毎日のケア＞
イヤモールドやチューブに水滴や耳垢が詰まっている場合は取り除き、本体を汚れが付いていない布で拭き、乾燥ケースの中に入れて保管してください。

＜毎週のケア＞
補聴器にひどい汚れが付いている場合は、濡れたやわらかい布できれいに拭き取ってください。より精密に確認したい場合は、販売店にご相談ください。

＜毎月のケア＞
チューブが変色したり硬くなっていないか確認して、もし硬くなっているようであれば交換してください。

⚠ 注意

- 補聴器をお手入れする際に、家庭用洗剤（石鹸、洗剤粉など）は絶対にご使用にならないでください。
- チューブに水滴が残る危険があるため、チューブとオープン型耳せんを水で洗ったり、水中に入れたりしないようにしてください。
- 水滴がチューブに残っていると、音がでない、または補聴器の電気部分が壊れる恐れがあります。
- チューブとオープン型耳せんは3ヶ月に1回のペースで交換してください。また、チューブが硬くなったり、もろくなってきた場合はすぐに交換してください。
- オープン型耳せんは販売店でのみ交換できます。チューブからオープン型耳せんを外して耳に装用しないでください。耳を傷つける恐れがあります。

補聴器の保管

通常の保管方法：

電池ホルダーを開けたまま補聴器を乾燥ケースに入れてください。

携帯する場合：

電池ホルダーを開けたまま補聴器を専用ケースに入れてください。
長期間補聴器をご使用にならない場合は電池を取り外しておいてください。

⚠ 注意

- 補聴器から必ず電池を取り出してください。
  補聴器から取り出した電池は乾燥ケースに入れないようにしてください。

初めてお使いになる方に

第一段階

初めは静かな家の中などで使用し、補聴器をつけることに慣れてください。最初は自分の声に違和感がありますが、本などを声に出して読んだりして違和感がなくなるまで練習します。練習は10分ほどから始めて徐々に長くしますが、疲れたらすぐ休んでください。

第二段階

静かな部屋で、身近な人と一対一で話す練習をしましょう。

第三段階

複数の身近な人と話をする練習をします。どの人が話をしているか聞き分けてみましょう。

第四段階

慣れてきたら、外で聞く練習をします。

⚠ 注意

- 補聴器の音が小さかったり、周囲の音が大きく感じたりしたら販売店にご相談ください。補聴器の再調整が必要となります。

故障かと思われたときは

補聴器が聞こえづらくなったときは、まず下記のようにお調べください。

1 電池がなくなっていませんか?

新しい電池に交換してください。
（12～13ページ）

いいえ

2 音の出口に耳垢がつまっている、もしくはゴミがつまっていませんか?

クリーニングしてください。
（35～36ページ）

いいえ

3 正しく耳に入っていますか?

きちんと耳に入れなおしてください。
（16～17ページ）

はい

販売店へご相談ください。

仕様・性能

ニオス S H20 Ⅴ
ニオス S H20 Ⅲ

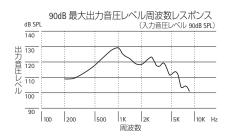
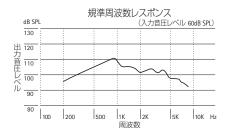
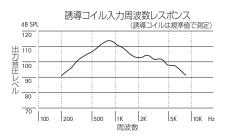
※本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により、スリムチューブ α で
測定・表示してあります。

適応聴力範囲	軽中
規準周波数	1600 Hz
最大音響利得（50dB入力）	52 dB ±5 dB
90dB 最大出力 音圧レベル	120 dB ±5 dB（1600Hz） 133 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ	500 Hz　4.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.0% 以下
電池の電流	1.80 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	140～220時間
誘導コイル感度	84 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ1 mA/m ループに対して垂直の時最大）
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 10 段階

※本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況·気温·温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

90dB 最大出力音圧レベル周波数レスポンス
（入力音圧レベル 90dB SPL）
dB SPL
140
130
120
110
100
90
出力音圧レベル
100
200
500
1K
2K
5K
10K
Hz
周波数

規準周波数レスポンス
（入力音圧レベル 60dB SPL）
dB SPL
130
120
110
100
90
80
出力音圧レベル
100
200
500
1K
2K
5K
10K
Hz
周波数

誘導コイル入力周波数レスポンス
（誘導コイルは規準値で測定）
dB SPL
120
110
100
90
80
70
出力音圧レベル
100
200
500
1K
2K
5K
10K
Hz
周波数

シンボルマークの説明

CE 記号は、アクセサリー類を含む製品が医療機器指示文 93/42/EEC とR&TTE指示文199/5/EC のラジオと通信機器·送信機の基準を満たしていることを示しています。CE 記号に続く番号は、フォナック社に対し指導した公認機関コードを表します。

この記号は、取扱説明書に載っている製品説明がEN60601-1 のタイプBF に則っていることを表します。

この記号は、補聴器を使われる人が取扱説明書に書いてある内容を読み理解してもらうことが大事であることを示しています。

ゴミ箱に×印の記号は、通常と異なるごみ処理が要求される可能性があることを意味します。処分される際はお住まいの自治体が定める方法に従ってください。

アフターサービス

1. 保証書（別途添付）

必ず「販売店名」、「お買い上げ日」、などの記載をお確めになり、大切に保管してください。

2. 修理について

保証書を一緒に販売店へお持ちください。保証書に記載された内容に応じて修理いたします。

3. その他

アフターサービスなどについてのご不明な点は、お求めの販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2012年5月現在のものです。各製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。

※この補聴器は耳を保護する目的で出力 125dB SPL 以下、利得 30dB 以下に設定し出荷いたしております。

補聴器ご購入のお客様へ

日本国内における保証期間

日本国内における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より2年間です。無償修理の際、保証書が必要になりますが、製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。

日本国外における保証期間（国際保証）

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、シェル、アクセサリーパーツ、電池、耳せん、外部レシーバを除く補聴器本体となります。国際保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。
当規定は上記の修理保証規定により交換・修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

保証適用除外

お客様または第三者の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理に関しては、保証期間内であっても保証適用外となります。修理は、フォナックが指定するサービスセンターでのみ行ってください。
また、補聴器の専門家による補聴器の調整やアフターケア等のサービスに対しても、保証対象ではありません。

Service Policy and Warranty

Local Warranty

Please ask the hearing care professional, where you purchased your hearing aid, about the terms of the local warranty.

International Warranty

Phonak offers you a one year limited international warranty valid starting from the date of purchase. This limited warranty covers manufacturing and material defects in the hearing aid itself, but not accessories such as batteries, tubes, ear modules, external receivers. The warranty only comes into force if a proof of purchase is shown. The international warranty does not affect any legal rights that you might have under applicable national and legislation governing sale of consumer goods.

Warranty Limitation

This warranty does not cover damage from improper handling or care, exposure to chemicals or undue stress. Damage caused by third parties or non-authorized service centers renders the warranty null and void. This warranty does not include any services performed by a hearing care professional in their office.

プログラム設定表の使い方

設定表は、販売店が設定したプログラム内容を記入できるようになっています。
（例えば、「電話モード」がどのプログラムに入っているのかがわかります。）

購　入　日： ______________________

電池の種類： ______________________

プログラム設定表

プログラム※2	設定内容	確認音※1
自動プログラム	サウンドフローによる 自動切り換え	短いメロディー
プログラム1		“ピ”（·）
プログラム2		“ピピ”（··）
プログラム3		“ピピピ”（···）
プログラム4		“ピポ”（.·）
イージーフォン		“ピポ”（.·）
イージーFM		“ピポ”（.·）
ミュート※3		確認音なし

※1 確認音は消すことも可能です。
※2 ニオス S H20 Ⅲ はプログラム3まで設定可能です。
※3 ミュート（無音）を選択している場合、音は聞こえませんが、電池は消耗しています。

販売店名

製造販売業

フォナック・ジャパン株式会社

〒141-0031
東京都品川区西五反田5-2-4 レキシントン・プラザ西五反田
TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口）
FAX 0120-23-4080

www.phonak.jp

許可番号 13B2X10021 認証番号 224AABZX00042000

029-1056-17/201205